

ニュース

第198号

発行日 平成30年7月23日
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20
 電話 0299 (69) 2222
 FAX 0299 (69) 2237
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単 元】

- 暑さに負けない
- 七 夕



【目 標】

- 暑くても、毎日行うことは最後までやり通すことができるようになりましょう。
- 暑い日の身なりや休憩の取り方を覚えよう。

「意思決定支援の前に」

生活支援員 祐尾 恵子

私は今年度から相談支援事業の一つである計画相談に携わる事になり、特にその中のモニタリングを中心に担当する事になりました。モニタリングというのは、利用者個人個人に対して、年に1回から数回、現在提供している支援の経過を観察し、課題を評価するという相談援助の展開過程の一つです。具体的には、支援経過を本人と共に見直し、必要に応じて修正していく作業です。モニタリングの項目には、利用者本人の感想と気持ちを記入する欄があり、私はこの項目はモニタリングにおいて最も重要であると思っています。

昨今の福祉の現場では「意思決定支援」が謳われています。利用者本人の気持ちを汲み、その希望を支援内容に反映させていくというものです。当施設の直接処遇の現場では、例えば、希望外出です。利用者さんそれぞれから希望を聞き、それを外出行事に反映させています。それも、なかなか容易な事ではありません。知的障害を持つ方の多くは自分の気持ちを言葉にする事や、未経験の事を予想する事が苦手だといわれています。当園の利用者さん



すばらしい作品にふれあう事ができました
 (吉野美術館 風景画展見学)

ちも、自分の気持ちを言葉で伝えられる方、言葉ではなくジェスチャーで訴える方、こちらからの問いかけがないと答えられない方、様々いらっしゃいます。発語のない方の希望は、普段の行動から気持ちを汲みとるようにしています。また、外出先にしても、ある程度の経験がないと、どこに行きたいかといった意見を持つのも難しい場合があります。このような現状でのモニタリングは、「本当にこの方はこれを望んでいるのだろうか」「私の思いの押し付けになってはいないだろうか」と、不安になる事も少なくありません。

簡単に「意思決定支援」と言っ

も、その実現にあたっては、本人が様々な経験をして、より多くの選択肢を持つている事が前提となっているように思います。幼少期からの積み重ねが大切ですが、そのような環境は、現在の日本の障害者福祉において十分ではないと感じています。「意思決定支援」と、理想を掲げるだけではなく、まずは障害の程度や能力に関わらず、自己決定ができるだけの経験を積めるような環境を作る事から始める事が大切なのではないでしょうか。その環境が整った上で、初めて意思決定というものが生かせるのではないかと思うのです。利用者の皆さんの『言葉にできない思い』を汲み取るモニタリングは、生活の楽しみや、更には生きる喜びにつながっていく重要な過程です。だからこそしっかりと時間をかけて利用者さん本人の気持ちを聞き、よりよい支援につなげていきたいと思っています。

「変わらない事」

生活支援員 入江 衣美

今年度から、長年携わってきたパン作業班を離れ、施設支援(ひまわりグループ担当)となりました。私は今年で入職15年目、いつの間にか職員でも古参の域になっていま

た。入職当初はすみれグループとひまわりグループを一年ずつ担当していました。その頃の利用者さんは、毎朝大量の洗濯物を皆で協力しながら干したり畳んだりしていました。しかし、十数年経った今では、高齢のため前線をリタイヤした方も多く、毎日の洗濯もなかなかほかでもない現状です。

新しい仲間も増え、以前担当していた時とは違う環境の中で、戸惑う日々です。在籍年数だけが長いだけで、気持ちは新人として、他職員に教えを請いながら、一日でも早く利用者の皆さんと関わりを深められるよう努めています。

しかし、そのような変化の中でも変わらないものもありました。それは、利用者さんたちの「助け合う気持ち」です。自分の係分担が終わると、何も言わずにそっと手伝いに入ってくれる方、天気がいい日に布団を干していると、仲間の分も運んでくれる方、そして、手伝ってもらった方は「ありがとう」と、てらいもなく言えている、そのような姿を毎日見かけるのです。皆さんの優しさで私も毎日励まされています。

まだまだ至らなく、頼りないばかりですが、利用者の皆さんからもらった優しさパワーを少しでもお返しできるような頑張っていけます。

グループだより

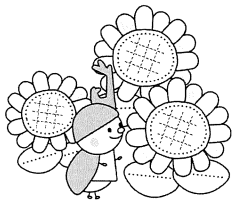
★ひまわりグループ

『農耕班日記・うねづくり編』

ひまわりグループには農耕班に所属している方が多くいます。その中で、今回は長年の農耕班活動で経験豊富な細田さんと、農耕班の中で一番の若手で、ただ今絶賛勉強中の鳥居さんをご紹介します。

先日の作業でさつまいもの畝(うね)作りをし、細田さんと鳥居さんに1カ所ずつ畝作りを担当してもらいました。さすが細田さんは手際も良くあつと言う間に立派な畝ができあがりました。鳥居さんはそれを見て「細田さんみたいに作れるかな・・・」と不安気です。すると細田さん、「最初はできなかったけど、たくさん練習してできるようになったんだよ。」と先輩らしいアドバイスをあげていました。鳥居さんも大きくうなづいて納得。これで鳥居さんの今年の目標は「一人で畝を作れるようになる」になりました。仲間からたくさん教わって、できることを増やしていきたいでしょうね。

〔井関〕



「事務所より」

事務員 藤元 千春

メジャー通算 3,089 安打を打ったイチロー選手が、球団の特別アドバイザーに就任し、今期残り試合は選手として出場しないというニュースが流れて久しいですが、彼に対してよく用いられた言葉があります。それは「無事は名馬」です。

怪我なく健康で長い間第一線で活躍できる事が、最も重要な事であるという格言ですが、この「健康であり続ける事」がいかに難しいかを、最近身をもって感じる事がありました。

突然手のしびれに襲われたのです。自分では健康に気を付けていると思っていたので、突然の発症に不安よりも驚きが大きかった事を覚えています。医師には加齢が原因だと言われました。

当園も、入所利用されている方の平均年齢は年々上昇しています。それに伴い通院回数も増加。入退院を繰り返す方も増えています。これに対応すべく、現場では身体機能低下予防の体操を取り入れたり、食事形態への配慮、日課の工夫など、支援員、調理員、栄養士、看護師が一丸となって日々のケアをしています。

名選手の裏にも怪我をしないための努力の積み重ねがあったとか。私も気長に治療しながら、中台の皆さんと共に、元気に健康に過ごすための積み重ねをしていきたいと思っています。

平成30年度 みのり会役員等	
理事長	千葉 良典
理事	谷田川 節男
理事	早川 陽之
理事	高野 勝明
理事	吉川 賢治
理事	千葉 桂資
評議員	君和田 博文
評議員	石井 吉昭
評議員	原 キミ
評議員	工藤 文子
評議員	中川 洋治
評議員	野口 篤
評議員	青木 勉
監事	井坂 悦雄
監事	横田 裕樹

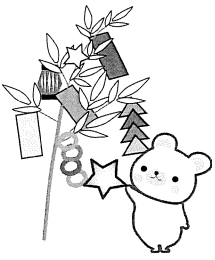
★すみれグループ

『ふれあい班日記』

・すみれシルバー編・

先日、栗原さんから「もつと写真が欲しい」とリクエストがありました。折しも私は今年度から創作的活動の担当になり、「みんなの活動を写真で残したい」と思い至ったのです。創作的活動では、大ホールに季節ごとの壁面装飾を作成しています。5月のテーマはどうしようか・・・と、すみれの皆さんにアイデアを募集すると、矢代さんが「新聞紙でカブトを作りたい」と。即採用です。出来上がったカブトにクレヨンで色を塗ったり、シールでデコレーションしたり、みんなで集まってわいわい楽しく作っていたら、活動時間はあっという間に終わってしまいました。その後、大ホールに飾るのも皆さんが手伝ってくれました。そして、きれいに飾った作品と一緒に記念撮影。栗原さんの希望も叶ったのです。

5月はカブト、6月はかたつむり。これからもたくさん作品と共に、皆さんの笑顔や楽しく取り組む姿を写真に残していきたいです。(宮崎)



みんなてごちそういただきます
(鹿島ハイツ宿泊体験)

★あざみグループ

『いってらっしゃいとただいま』

去る6月27日、毎年恒例『鹿島ハイツ宿泊体験』が催されました。今年度はあざみグループの皆さんがたくさん参加され、気心の知れた仲間同士で和気あいあいと一晚を過ごしたようでした。

当日、私は夜勤のため一緒には行けなかったのですが、出勤すると玄関前にはハイツへ向かう皆さんが集合していました。どこに行くのかな？と少し不安げな平間さん。ちよつと変わったことがありそうな予感でそわそわしている石田さん。おでかけが楽しみで仕方がない竹添さん。お気に入りの手荷物を目の前にいっぱい並べた島村さん。見送り

職員だけでなく、これから一緒に行く職員にも手を振って「いってきます」の笑顔を振りまく大野さん。そして、いつもと変わらずちよこんと座っている湖林さん。

ハイツでは皆さん充実した一晚を過ごしたようです。何も言わなくても、帰って来た時の顔を見ればわかります。その笑顔だけで、最高のお土産をいただきました。おかえりなさい♪
(海老澤)

★なでしこグループ

『クッキー班日記』

・初めての活動編・

今年度から新たに『クッキー班』という活動班ができました。活動場所はパン工房梵天。活動日は月に2

回、隔週の水曜日です。

中川さんは稼働したばかりのこの班への参加を希望され、4月からがんばっています。4月11日は最初の活動日でした。中川さんにとって、梵天の作業室は初めての場所なのですが、そこはさすが。とても手際良く作業にあたっていたようです。帰って来た時は満面の笑みで「私が作ったクッキー食べてください♪」と、とても充実した様子でした。

あれから3か月経ち、活動にも慣れが生まれてきました。『仕事の慣れは3区切り毎』と言われています。そして、今年は猛暑の予感・・・中川さん！ここが踏ん張りどころですよ！おいしいクッキー、楽しみにしています。
(榊原)

「梵天だより」

パン製造班担当 千代田 麻子

パン工房梵天は、今年度新作ラッシュです！菓子パンでは、今話題のパブカ（チョコ、クリームチーズ&ブルーベリー）やベグル（プレーン、チョコ、シナモンレーズンなど）、米粉パンなどがラインナップ！手作りソースのキャラメルロールもおすすめてです。

人気の食パンは毎日日替わりで作っています。食パンはお問い合わせが多く、これからも従来の味を守っていきますが、ぜひ新作にもご期待ください。

利用者の皆さんは、新作ラッシュで新しい事に挑戦中！毎日わくわくしながらがんばっています！

【住所】 鹿嶋市鉢形台2-17-5

【電話】 0299-83-0316

【営業時間】 12:00～17:00

※毎週水曜は15:00まで

【定休日】 毎週日・月曜日

★夏まつりのご案内★

【日時】平成30年7月29日(日)

午後5時～8時

【場所】中台育心園広場

☆各種飲食模擬店

☆ゲームコーナー

☆花火大会

☆盆踊り など

※雨天中止



Are You Ready?
イエーイ!
今年も豪華賞品が
いっぱい!



初夏のおでかけ



なつがしい顔にも出会えきした (ゆらあいスポーツ大会)



那佐原あやめ

潮来舟にも乗りきした♪ (水郷めぐり)

跡 跡 跡

〔5・6月〕

【寄付】

▼掛田小夜子様

▼飯島昭子様

▼池田洋様

▼菅谷誠様

▼島村輝久江様

▼篠田美次様

▼アンサンブルウイズ北村様

【来園者】

▼羽生明義様 (絵画指導) ▼アンサンブルウイズ様 (演奏ボランティア) ▼横田裕樹様 (会計監査) ▼永光パートナーズ 渡辺様 (会計指導) ▼高坂防災

綱様 (消防設備点検) ▼大野消防署 辻田様、大川様 (消防立入検査) ▼マイナビ 小磯様 (システム指導) ▼水理技研様 (定期点検) ▼アルソック 池田様 (AED点検) ▼鹿嶋市役所 久保様、座間味様 (認定調査) ▼東久留米市役所 清水様 (認定調査)

【日中一時支援】

▼本谷竜久さん (放課後支援)

【短期入所】

▼篠田純一さん

▼小沼好静さん

▼福栄都さん

【5・6月誕生者】

▼久保田政代さん (5月8日)

▼村上りき江さん (5月19日)

▼大野章さん (6月7日)

▼中川美和さん (6月11日)

▼小野口里子様

▼橋爪正様

▼橋爪八重子様

▼芳野富美子様

▼野口りつ子様

- ▼野川貞子さん (6月12日)
- ▼福井誠さん (6月15日)
- ▼野川貞子さん (6月12日)
- ▼宮渕広昭さん (6月30日)

編集後記

一年前の7月。外から仔猫の鳴き声が聞こえてきました。迷子の仔猫なのでしようが、弱弱しさは全くなく、やたら自己主張の激しい鳴き声が、日暮から早朝まで続くのです。母には止められたのですが、あまりのうるささに負けてつい呼びかけてしまいました。暗闇に「びやびや」と言うと「びにやあびにやあ」と答える！それを繰り返す事5日。姿を見てから3日。案外あっけなく捕獲しました。騒音の主は、生後2か月ほどの灰色の雄猫でした。

それからいろいろあって、我が家の3匹目として迎えてから早1年。まっさきに仔猫にメロメロになった母。1年経ってもチビが嫌いな先住猫2匹。そして、一番体が小さいのに態度だけはでっかくなつたチビ猫は、今は私のベッドを自分の物のように占領してのびのび寝ております(私はその横で、猫に蹴られながら寝ています)。

(チヨダ)

